



西尾寿博議員

甲川に遊歩道を

町長 地域と共に検討する

問 甲川は中国地方で2つ、山陰では唯一、「日本百名谷」という著書に掲載されている。

源流は大休峠あたりの、標高1000m地点から日本海まで約18kmと、標高差の大きい川である。

ブナの原生林、落葉照葉樹等により、水量、水質、共に素晴らしく、海からわずか12kmの地点（うぐいす橋）より上流に溪谷がある珍しい川。

今年で7回を数える「溪流まつり」も盛況で、

参加者は年々増加している。命の源である川、素晴らしい自然、それによって癒されると思っている。

そこで、護岸を利用し、自然を残しながら、遊歩道的な河川管理道はできないか。町長の考えている保養、癒しのプロジェクトの一環として取り組むことはできないか。

答 森田町長

甲川は、水量が豊富な素晴らしい川だと思う。

地域の人、あるいは実際に甲川を身近に感じている人と一緒になって、提案を着実に進め、問題があるなら、共に考えてクリアをしていく。その上で河川管理者の鳥取県にアプローチをするという道筋が必要だと思っている。



甲川「溪流まつり」



池田満正議員

大山診療所の今後の体制は

町長 固定医と相談し検討する

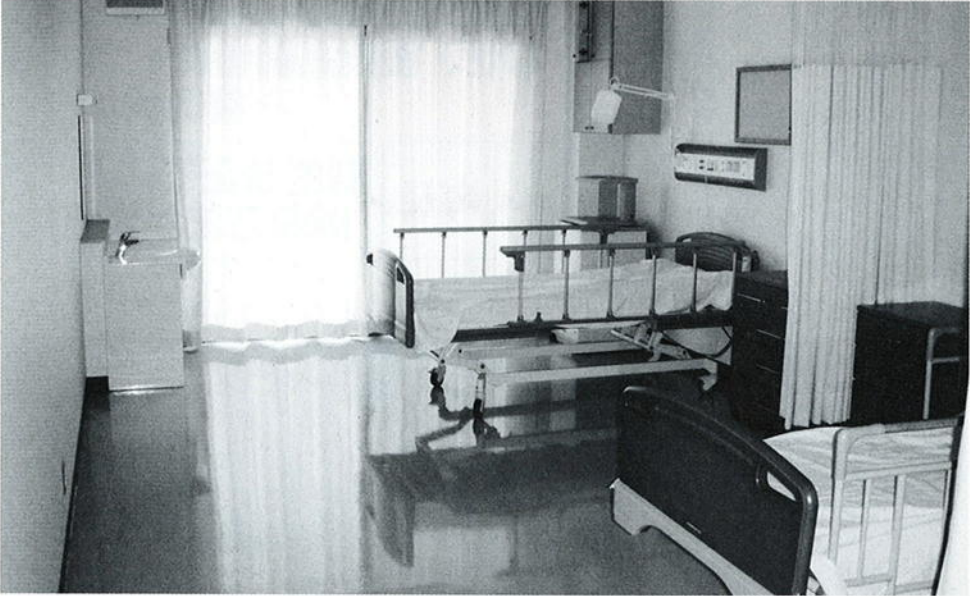
問 大山診療所は起債の返還が今後23年間で5億9882万円ある。

今後の体制は、いつごろまでを目安に考えているか。特に2階部分はどう

うするのか。平成20年度に入院休止が決定した。今後は、入院施設、介護施設、指定管理、その他どう活用するのか。また、いつまでを目標にしているか。

答 森田町長

固定医をまず確保し早急に外来診療体制を整えることに鋭意努力する。そして、その先生とよく相談し具体的に検討したい。入院を再開でき得る体制が可能ならば、入院を再開する。しかし、現実には見通しは暗いと感じる。従って入院に限定せず、その他の活用方法も平行して検討したい。町直営でなく指定管理も視野に入れての検討もあると考える。



入院施設の活用は